

平成29年度 県立名護商工高等学校学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No.1

1 教育目標	①すぐれた知性の育成（知育） ②ゆたかな心の育成（徳育） ③たくましい体の育成（体育）④魅力ある学校づくりの推進 ⑤信頼される学校づくり
2 学校経営方針	(1) 学習指導の工夫・改善・充実に努め学力の向上を図る (2) 豊かな心と体を育む教育活動を推進する (3) 進路指導の充実強化を図る (4) 生徒指導の充実強化を図る (5) 保健・安全及び教育環境の整備を図る (6) 特別活動の充実強化を図る (7) 家庭・地域社会との連携の強化を図る

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価	平成29年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
1 学校の教育目標 教育計画・学校運営	学校の目標を具体的に説明し、地域・父母・学校一体となった学校づくりに努める	(1) 本校の教育方針はわかりやすく伝わっている	B	・今年度は商工祭を実施し地域・保護者の方々を中心としてたくさんの方に来場いただいた。(4)については、Aと回答した職員は56%、Bと回答した職員は44%であった。	B	①(3)については色々と声を聞く機会が設定されているのは良いことなので、もう少しその取り組みについて周知を図っていただきたい。
		(2) 生徒の成績評価方法がわかりやすく説明されている	B		A	
		(3) 家庭や地域の声を聞く機会が設定されている	B		B	
		(4) 学校行事を地域の人々に案内し、開放している	A		B	
		(5) 学校目標方針等は地域のニーズに応えている	B		B	
2 豊かな心を育む 教育活動の推進	自他の生命の尊さ、人間の尊厳に関わる道徳教育の推進に努める	(6) 個性を尊重し、個に応じた教育や、道徳及び人権教育の推進をしている	B	・3項目でA評価である。生徒数は増加しているが、問題行動及び相談件数等は減少傾向にある。生活指導部・教育相談係を中心とした支援体制で取り組んでいるが、地域・保護者の協力体制を整備する必要がある。	B	①地域・保護者の協力体制が不十分なので次年度は協力体制の整備を図りたい。
		(7) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実に努めている	A		B	
		(8) 教師・生徒の人間関係の醸成のための教育相談の充実が図られている	A		B	
		(9) 教育相談による生徒理解や支援が効果的になされている	A		A	
3 学習指導の工夫・改善・充実に 努め学力の向上	基礎的・基本的事項の指導を徹底し、自ら学ぶ生徒の育成に努める	(10) 生徒を一人ひとりを視座にした基礎的・基本的知識技能習得を図っている（補習・講座等）	B	・専門教育指導について95%以上の職員がほぼ達成または概ね達成と回答している。学習指導の工夫・改善・充実に努め、学力向上に協働体制で推進していく必要がある。	B	①学習指導・工夫についてほとんどわからない状況であるのでB評価としました。
		(11) 生徒が主体的に学習に取り組むための授業工夫と分かる授業の充実を図っている	B		B	
		(12) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	A		B	
4 進路指導の充実	進路意識の高揚と個々の生徒への相談充実	(13) 保護者がいつでも進路相談にいける雰囲気のある学校で相談室も入りやすい環境である	B	・PTA総会時に卒業生講話をPTA対象に実施した。その後、奨学金等の相談で進路室を訪れた保護者もおり、次年度も魅力ある講演を実施し参加者増に努める必要がある。 ・今年度も就職内定後に辞退する生徒が出てしまった。内定後のフォローアップの取り組みが必要である。	A	①(13)については、学校側がその環境を作っても保護者の中にはいきたくても入りづらいとの意見があります。先生方との面識が少ないのが原因だと思います。この件に関してはPTA役員も協力して相談室に入りやすいことを伝えていきたい。
		(14) 進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供がなされ、本校の卒業時点の進路決定者が知らされている	A		B	
		(15) 進路情報の収集及び進路相談・個別指導の強化がなされている	A		B	
		(16) インターシップの充実と正しい職業観・勤労観の育成に努めている	A		B	
		(17) 生徒たちの目的意識高揚に気を配っている	B		A	

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

平成29年度 県立名護商工高等学校学校評価（自己評価・学校関係者評価）

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価	平成29年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
5 生徒指導の充実	好ましい人間関係の中で、自ら考え、自主的に判断し、行動できる能力の育成に努める	(18) 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の乱れから身なり、勤怠指導を受ける生徒が多かった。</li> <li>・生徒・保護者の満足度は満足以上と回答した割合が優位</li> <li>・交通安全指導の更なる徹底を図る必要がある。</li> </ul>	B	①大北地域では定期（月1回）パトロールを実施してありますが以前に比べ指導案件は減少しています。 ②遅刻に関しては夜更かしで朝起きられず遅刻するケースが多い、家庭と連携した生活習慣の見直しや指導も必要だと思う。
		(19) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B		B±	
		(20) 生徒たちの行動面の改善指導が行きとどいている	B		A	
		(21) 全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立と心の教育の充実に努めている（凡事徹底）	B		A	
6 保健・安全及び教育環境の整備	保健・安全指導の充実と施設・設備の安全管理に努め、健康で明るく豊かな自然を守り、花と緑のある学園づくりをめざす	(22) 教育目標にそって校内の施設・環境等に工夫がみられる	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化係の尽力で緑と花いっぱい学校へと整備された。</li> <li>・部活動中の怪我があり、安全指導を徹底する必要がある。</li> </ul>	A	①毎年、桜やユリ、シークエンスを楽しみにしています。管理されている用務員さんに感謝です。花が咲いていると子供たちも幸せな気分になれると思う。
		(23) 生徒たちは健康で健全な学校生活を送っている	B		A	
		(24) 保健室は生徒が常に活用できる安全な環境である	A		B	
		(25) 安全管理の日(毎月1日)の設定を行い、定期的な安全点検の実施をしている	A		B	
		(26) 教室内外の美化、花と緑のある学園づくりに努めている	A		A	
7 特別活動の推進	集団活動、体験活動を通して、自主的・実践的な態度を育成する	(27) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつ運動など主体的な活動が見られ、多くの職員が変化の兆しと感じており生徒会活動の活発化が見て取れる。</li> </ul>	C	①商工の学校環境は素晴らしい状態状況にあると思います。もっともっと積極的に各中学校へアピールして頂きたい。 ②サッカー部の朝のあいさつはとても素晴らしい活動です。保護者も子供たちを見習ってあいさつ運動に取り組みたいと思う。
		(28) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	B		C	
8 魅力ある学校づくりの推進	各科・コースの特色を明確にし、学校の存在感をアピールする	(29) 中学校への広報活動を充実させている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPにて生徒の活躍及び学科通信などを随時アップした。次年度も積極的に生徒の活躍を様々なメディアを通じて発信する必要がある。</li> </ul>	B	③学校全体が良くなっているので生徒を中心とした全体行事（遠足など）をさせてみるのもよいと思う。
		(30) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	B		B	
		(31) 特色を生かした教育課程の編成・研究に努めている	B		B	
9 家庭・地域社会との連携	保護者・地域住民の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりをめざす	(32) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA評議員会の参加率を上げる為に呼びかけと連絡を密にしていく。</li> <li>・PTA活動の活性化を図るため、魅力ある活動を企画していく。</li> </ul>	A	①これまでにない取り組みが企画され、学校側も快く理解していただきPTA活動が活性化されている。
		(33) P T A評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や夜間巡視へ積極的に参加している。	B		A	
10 研究・研修の推進	情報化の推進と計画的に校内研修を実施する	(34) 進路支援システムの活用と事務処理の情報化に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目10では98%の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。センター等の外部研修を奨励し、指導力向上を図っていく。</li> </ul>	A	
		(35) 校内研修の推進と関連機関研修（センター・研究会等）の機会を奨励している	B		B	

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）